

<事業名> 但馬旅人生活拠点。「但馬に演劇を届ける 2022」

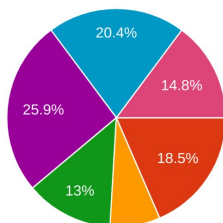
団体名	但馬旅人生活拠点。
所在地	豊岡市
代表者名	高木 沙羅々

事業内容	日時	令和4年7月23日(土)
	場所	豊岡市民プラザ
	内容	豊岡市主催のアート縁日にて演劇作品の上演を行う
事業内容	日時	令和4年10月12日～令和5年1月22日
	場所	但馬地域のコミュニティセンターなど(7か所)
	内容	演劇作品の上演と交流会
事業内容	日時	令和5年2月26日(日)
	場所	豊岡市民プラザ ほっとステージ
	内容	演劇作品の上演
地域	但馬全域	
事業の効果	<p>(1) 団体(組織)内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段演劇に触れていない地域の方にどんな作品を届けるとよいかを考え、試行錯誤できた。 ・ツアーの「レクリエーション」や「おはなし会」を通じて、各地域のお祭りについてや参加者の方の背景を知り、但馬に対する興味がより湧いた。 ・ツアー先で空き時間に会場付近を散策したり、昼食に近隣のお店を紹介いただき食べに伺ったりしたことでその土地を知ることができ、もう一度その地域を訪れる理由ができた。 ・地区コミュニティセンターの利用の仕方や、そこで公演を打つ際に必要な準備などを知ることができた。 <p>(2) 地域への波及</p> <p>公演アンケート結果</p> <p>【ツアー公演】城崎町公演より収集開始：回答18件</p> <p>回答者全員が但馬地域居住者で、各開催地域居住者の参加もみられた。18件中14件の年間観劇頻度は「今年初めて」が5件、「年1・2回」が4件、「年3・4回」が5件で、残り4件の観劇頻度は「月に1・2回以上」であった。これらのことから、普段あまり演劇を見ない地域住民の観劇機会を創出したといえる。また、課題である広報については、豊岡アートアクション様から公演情報を知ったという回答が10件、次が知人・友人からという回答で6件、次いでチラシが5件であった。遠方からの移住者で構成された学生劇団で、各地域に知り合いが少ないため口コミやSNSでの広報には難航したが、直接知り合ってお話を聞いていただいたことで協力してくださる方が増え、広報を通じて地域との交流の輪が広がった。</p> <p><コメント抜粋></p> <p>「規模の大小はあれど、豊岡で公演を見ることが出来る機会が増えて本当に嬉しいです。」</p>	

「演劇は少しわかりにくかったですが、孤独をポジティブに表現されていたと思います。その後のレクリエーションなどでたくさん話しができて楽しかったです。また、参加したいです。」

【最終公演『結婚申込』】：回答 54 件

2.年齢
54 件の回答



- 15歳未満
- 15歳～24歳
- 25歳～34歳
- 35歳～44歳
- 45歳～54歳
- 55歳～64歳
- 65歳～74歳
- 75歳以上

左のグラフ『2.年齢』からわかる通り、様々な年齢層のお客様にご来場いただいた。また、居住地に関しても、豊岡市 41 件・養父市 4 件・朝来市・香美町・京丹後市・神戸市からそれぞれ 1 件ずつと、東京都・熊本市という回答が 1 件ずつあった。熊本市からのお客様に直接ヒアリングしたところ、旅行で豊岡を訪れ、たまたま行った飲食店で公演関係者と知り合いご来場いただいたとのこと。

観劇機会の創出について、最終公演では月に 1・2 回以上観劇をするという回答は約 40% だった。つまり約 60% の回答者は比較的低い年間観劇頻度の中で今回ご来場いただいた。観劇回数によって舞台芸術との親密性を正確に測ることは難しいが、本公演が観劇のきっかけとして、但馬地域の普段演劇を見ない方へ働きかけたと言える。また、来場者数 156 人中、大学関係者（学生・教員）が約 25% だったことと、回答数 54 件中 47 件が但馬地域居住者だったことも合わせて、広く地域へ波及した事業であった。

最終公演では、豊岡アートアクション様のご協力もあり但馬県民局内や豊岡市役所内でもチラシを回覧いただいた。また、大開通りでも広くチラシの掲示を行ったため、ツアー公演よりチラシから公演情報を得た方が多かった。新聞や SNS など多角的な広報によって、新たな顧客の創出に繋がった。

〈コメント抜粋〉

「仕事帰りに舞台が観られるなんて環境これまでに無かった。但馬に演劇を届けてくれてありがとう。」

「豊岡でチェーホフが観られると思いませんでした。大変感動しました。」

「大学での上演とはまた違い、新鮮な感覚でした。場内案内、受付などの対応も気持ちよかったです。」

事業経過	月 日	実施内容	場 所	参加人数
	7月 23日	豊岡アート縁日参加 『現在の世の空に過む』	豊岡市民プラザ ほっとステージ	14 人（観客数不明）
	10月 12日	但馬ツアー 新温泉町	浜坂多目的集会施設	13 人
	11月 20日	但馬ツアー 日高町	日高地区コミュニティセンター	7 人
	12月 18日	但馬ツアー 但東町	高橋地区コミュニティセンター	24 人
	1月 11日	但馬ツアー 城崎町	城崎地区コミュニティセンター	4 人
	1月 14日	但馬ツアー 養父市	やぶ市民広場	2 人
	1月 19日	但馬ツアー 香美町	香住文化会館	5 人
	1月 22日	但馬ツアー 竹野町	竹野地区コミュニティセンター	9 人
	2月 26日	最終公演『結婚申込』	豊岡市民プラザ ほっとステージ	156 人

協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡アートシーズン 2022 参加事業：豊岡アートシーズン事務局 ・広報協力など：豊岡アートアクション ・7月23日 アート縁日出演：豊岡市文化・スポーツ振興課 ・10月12日 新温泉町公演：新温泉町生涯教育課「青い鳥学級」 ・12月18日 但東町公演：但東町高橋地区「メダカの学校」
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等</p> <p>今回の公演を受けて1学年下の劇団員が増えた。来年度も新入生の勧誘をし団体の運営を引き継いでいく。大学から支給されるサークル費の助成を受けながら最低限の活動継続を可能とする。その他イベントへの出演料と助成金を利用して新たな作品創作・公演を行い、但馬地域での顧客を創造していく。また、公演映像の販売やオンラインで販売できるコンテンツの製作を新たな収入源として拡大させていくと同時に、学生演劇祭や全国のイベントに参加することで認知を高め、効果的な販売に繋げていく。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等</p> <p>継続的な巡回公演と大学からの出演依頼受注で人脈を広げ、公演機会の創出につなげる。巡回公演の広報に課題があるため、各地域のキーパーソンと信頼関係を構築するとともに、今回の事業に参加くださったお客様への定期的なアプローチを行う。</p>



4年7月23日 豊岡アート縁日



4年11月20日 ツアー公演@日高



4年12月18日 但東公演



5年1月11日 ツアー公演@城崎